

一級河川 相模川・中津川 樹林化対策 事業

事業の目的

樹林化とは、河川敷に樹木が生い茂り、その範囲が拡大していくことです。

相模川・中津川では、上流のダム建設などにより、河川の増水が減った一方で、河川内に土砂が堆積して樹木が成長しやすい環境となり、樹林化が進んでいます。

樹林化により、次のような課題が深刻化しています。

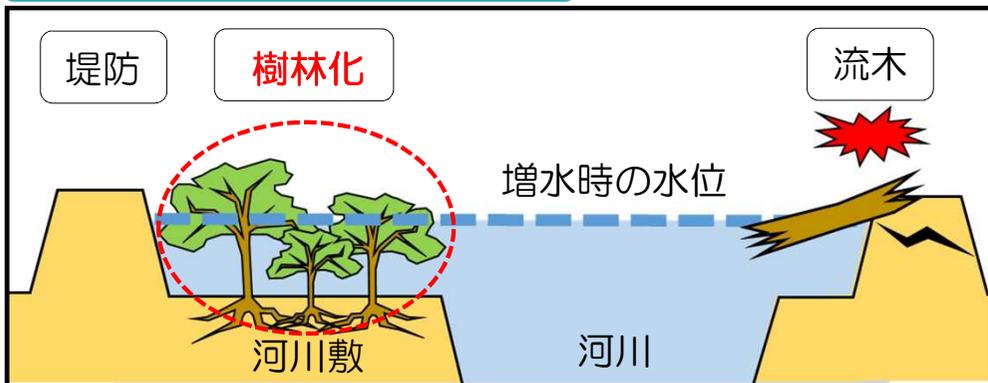
増水時の水の流れの阻害

ゴミの不法投棄の誘発

河川の本来の生物多様性を保つために
必要な、れき河原の減少

これらの課題を改善するため、樹林化対策(樹木の伐採など)を実施しています。

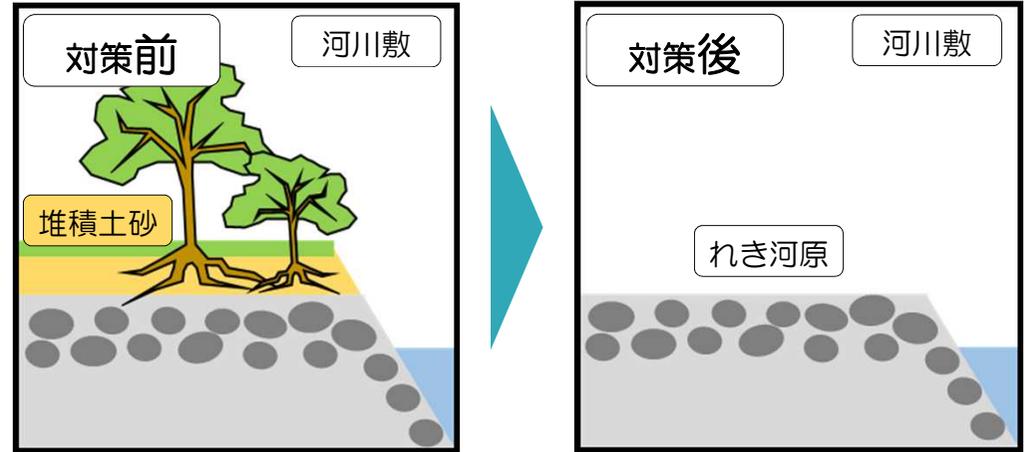
樹林化した河川の増水時の様子



樹林化対策の主な事例

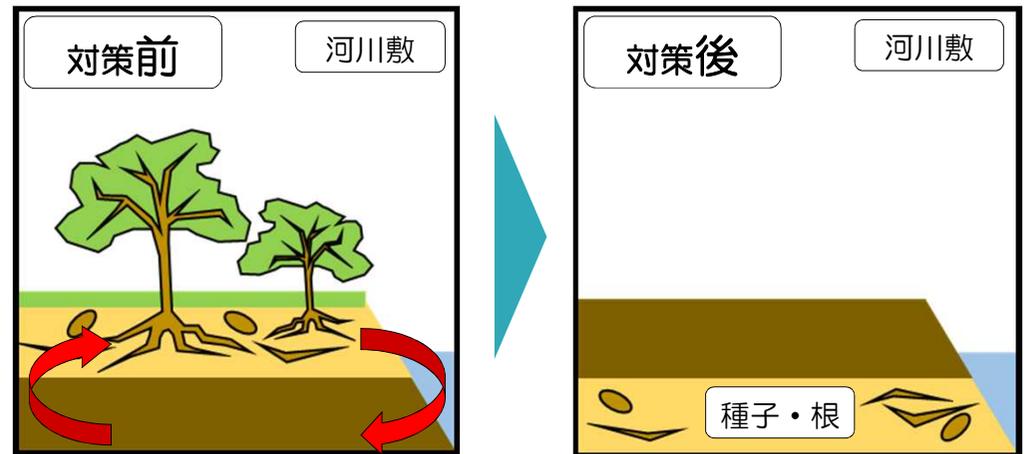
たいせきどしゃてつきよ ばつぼくじょこん
堆積土砂撤去 ・ 伐木除根

樹木を伐採し、根を取除いた後、堆積した土砂を撤去することで水を流れやすくします。



てんちがえし ばつぼくじょこん
天地返し ・ 伐木除根

樹木を伐採し根を取除いたあと、残ってしまう種子や根を地中に埋め、発芽や増殖を防ぎます。



裏面に「樹林化対策工事の主な実施(工事)事例」あり

樹林化対策工事の主な実施(工事)事例

相模川 厚木市 酒井 (新東名高速道路付近)

たいせきどしゃてつきよ ばつぼくじょこんこうじ
堆積土砂撤去 ・ 伐木除根工事



中津川 愛川町 田代 (馬渡橋付近)

まわたりばし てんちがえし ばつぼくじょこんこうじ
天地返し ・ 伐木除根工事

